

科目名	創造システム工学セミナー 一般			英文表記	Creative System Engineering Seminar for general education		2016/3/24		
科目コード	6024							作成	
教員名:キャリア教育センター長、専攻科長 技術職員名:								作成	
対象学科/専攻コース				学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全コース				専1・2	選	学修	2単位	講義	集中講義
科目目標 【MCC目標】	①広い視野・多角的視点から技術に必要な要素を学習し、技術者にとって何が必要かを理解する。 ②各講義における目的を理解する。 【IX-G】未来志向性、キャリアデザイン力								
総合評価	各講義におけるレポートで評価する(100%) 学年末評価は全講義レポートで行い、60%以上を合格とする。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)		達成度目標の評価方法	ルーブリック				
	50%	① 広い視野・多角的視点から技術に必要な要素を学習し、技術者にとって何が必要かを理解する。 【機械システム】C-1, C-2, B-1, B-2 【情報通信システム】C-1, C-2, B-1 【メディア情報】C-1, C-2, B-1 【生物資源】C-1, B-1		正しく説明できるかレポートで評価する(100%)	理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達レベル	セルフチェック	
	50%	② 各講義における目的を理解する。 【機械システム】C-1, C-2, B-1, B-2 【情報通信システム】C-1, C-2, B-1 【メディア情報】C-1, C-2, B-1 【生物資源】C-1, B-1		正しく説明できるかレポートで評価する(100%)	講義内容を理解し、その分野における問題点を適切にわかりやすく説明できる	講義内容を理解し、その分野における問題点を説明できる	講義内容を適切に説明できる		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	C-1, C-2, B-1, B-2	C-1, C-2, B-1	C-1, C-2, B-1	C-1, B-1
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		0	0	100	0	100			
基礎的理解	①②			50		50			
応用力(実践・専門・融合)	①②			50		50			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	<p>【授業概要】学内で開催される技術者講演会や高専機構・3機関連携で配信される技術者講演会を講義の対象とする。したがって、内容は毎年変更される。</p> <p>【履修上の注意】1コマ15回以上の聴講およびレポート提出で採点対象となる。履修希望者は、事前に担当教員に履修申請を行い、教務係で集中講義履修の手続きを行う。</p> <p>【レポート内容必須事項】講演会日時、タイトル、講演者、講演内容の目的、講演内容、講義から得られた知見</p>								

教科書・ 教材	配布資料、PPT
------------	----------

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	特別講演会	2	SDN/クラウド技術基礎	レポート	
2	特別講習会	2	SDN/クラウド技術ハンズオン(1)	レポート	
3	特別講習会	2	SDN/クラウド技術ハンズオン(2)	レポート	
4	特別講習会	2	SDN/クラウド技術ハンズオン(3)	レポート	
5	特別講演会	2	地域に密着した地理情報システム	レポート	
6	特別講演会	2	国際情報通信ネットワーク	レポート	
7	特別講演会	2	グローバルキャリアの形成(1)	レポート	
8	特別講演会	2	グローバルキャリアの形成(2)	レポート	
9	特別講演会	2	グローバルキャリアの形成(3)	レポート	
10	特別講演会	2	(調整中)	レポート	
11	企業技術者講演会	2	機械システム工学に関して(1)	レポート	
12	企業技術者講演会	2	機械システム工学に関して(2)	レポート	
13	企業技術者講演会	2	情報通信システム工学に関して(1)	レポート	
14	企業技術者講演会	2	情報通信システム工学に関して(2)	レポート	
15	企業技術者講演会	2	メディア情報工学に関して(1)	レポート	
期末					
16	企業技術者講演会	2	メディア情報工学に関して(2)	レポート	
17	企業技術者講演会	2	生物資源工学に関して(1)	レポート	
18	企業技術者講演会	2	生物資源工学に関して(2)	レポート	
19	企業技術者講演会	2	航空技術に関して(1)	レポート	
20	企業技術者講演会	2	航空技術に関して(2)	レポート	
21	企業技術者講演会	2	(調整中)	レポート	
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末					
学習時間合計		42	実時間	31.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	レポート(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各5時間×15回	
②					
③					
				計75時間	
備考欄					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述) 機械システム工学コース: 指定する講義は必ず聴講すること。 電子通信システム工学コース: 指定する講義は必ず聴講すること。 情報工学コース: 指定する講義は必ず聴講すること。 生物資源システム工学コース: 指定する講義は必ず聴講すること。 ・対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容及びその到達目標を【】内の記号・番号で示す (学位審査基準の要件による分類・適用) 科目区分: 専攻外科目 学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)					